

国際海運の脱炭素化に向けた動向

～海運 EU ETS、FuelEU Maritime 等、欧州の政策動向を中心に～

— 講師 —

公益財団法人日本海事センター 企画研究部

主任研究員 森本 清二郎 氏

日時 2024年11月28日(木) 午後1時～3時

受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会場 SSK セミナールーム 東京都港区西新橋2-6-2 ザイマックス西新橋ビル4F

[重点講義内容]

国際海運では GHG 排出量ネットゼロに向けて代替燃料や代替エネルギーの普及を促す対策が必要とされています。欧州では、本年より EU ETS の海運分野への適用が始まり、来年からは燃料のライフサイクル GHG 強度を規制する FuelEU Maritime の適用が始まります。また、国際海事機関(IMO)ではエネルギー効率改善や代替燃料・エネルギーの普及に向けた基準や規制の検討が進められています。

本講演では、欧州の政策動向を中心に、国際海運の脱炭素化に向けた動向について紹介します。

1. 国際海事機関(IMO)における GHG 削減対策
—GHG 削減戦略、中期対策、LCA ガイドライン
2. 欧州における海運分野の GHG 削減対策
—海運 EU ETS、FuelEU Maritime
3. 欧州における船用代替燃料の普及に向けた支援策
—Innovation Fund
4. 船用代替燃料に関する動向
—代替燃料の供給予測、欧州の e-fuel プロジェクト
5. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 森本 清二郎(もりもと せいじろう)氏

2007年 早稲田大学大学院政治学研究科博士後期課程単位取得退学。同年より日本海事センターにおいて国際海運の環境規制の調査研究に従事。日本船舶技術研究協会主催「国際海運 GHG ゼロ エミッションプロジェクト」委員、東京都市大学非常勤講師などを務める。

